

「椅子プロジェクト」について ～地域包括支援センターこもればでの取り組み～

〈発端〉

ケアマネジャーの事例発表を受けて、自立支援型地域ケア会議で話しをした。

〈事例内容〉

高齢者がお出かけするときに、休み休みしながら歩いている。休む時に、立ったまま休憩したり、石垣の出っ張りに腰かけたりしている。ゆっくり休めず、転倒の危険もある。

→ 椅子に座って休憩できたらいいのに。

〈経過〉

ケアマネジャーの話しを受け、包括こもればの事務所前に試しに椅子を置いてみた。

事務所前が、信号のある交差点ということもあり、信号待ちの人が椅子に座っている場面を時々見かける。

利用された人から、『ここに椅子を置いてもらえたら助かる』と、通りかかった職員にお礼を言われる人や、わざわざ事務所の中に入ってきてお礼を言われる人もいる。

→ こもれば以外のところでも、椅子を置くことを広げていけないか？

樟葉・樟葉北・樟葉南小学校区の第2層協議体で、椅子を置く活動について話しをしている。圏域の事業所や薬局などに椅子を置く活動についてアンケート実施。

〈課題〉

概ね賛同の意見を頂いているが、椅子の出し入れや破損、盗難といった管理の問題や、利用者が転倒やケガなど、事故が起きた時のことを心配される声や、事業所からは、車やバイクの出入りが多く危険といった声も頂いている。

〈今後〉

出来るところから少しずつ広げていけたらよいのでは、との方向性で、まずは介護事業所さんとか、商店街さんとかで、協力いただけたところに、声かけして行って、少しずつ増やしていけるように、そして、将来的には、パッと見てわかる椅子、例えば目立つステッカーが貼ってある椅子とか、同じ色の椅子とか、地域の方が、椅子を見て『この椅子は自由に座っていい椅子』と認識してもらえるようになればと考えている。